

(お知らせ)

2021年11月30日  
沖縄電力株式会社

### 燃料タンク運用下限に関する考え方の公表について

2021年10月25日に資源エネルギー庁より策定・公表されました「需給ひっ迫を予防するための発電用燃料に係るガイドライン」に基づき、当社における燃料タンク運用下限の考え方について公表いたします。

(参考)

需給ひっ迫を予防するための発電用燃料に係るガイドラインはこちらから  
ご確認ください。

経済産業省資源エネルギー庁 HP 関係法令・ガイドライン等:

[https://www.enecho.meti.go.jp/category/electricity\\_and\\_gas/electric/  
summary/regulations/](https://www.enecho.meti.go.jp/category/electricity_and_gas/electric/summary/regulations/)

以 上

燃料タンクの運用下限に関する考え方

基地名	吉の浦火力発電所	牧港火力発電所	牧港ガスタービン 発電所	石川火力発電所	石川ガスタービン 発電所
燃料	L N G	石油	石油	石油	石油
貯蔵設備容量	280,000kl	40,886kl	4,000kl	46,587kl	3,062kl
発電 ユニット	吉の浦火力1,2号機 吉の浦マルチガスタービン	牧港火力9号機	牧港ガスタービン 1,2号機	石川火力1,2号機	石川ガスタービン 1号機
運用下限 の考え方	物理的下限等※1に加え、 需要増・燃料遅延リスク として、1日あたり平均 消費量×約14日分	物理的下限等※1に加え、 需要増・燃料遅延リスクと して、1日あたり平均消費 量×約40日分	設定なし※2	物理的下限等※1に加え、 需要増・燃料遅延リスクと して、稼働時における燃料 消費量×約40日分	設定なし※2

※1 タンクから物理的に払い出しができない量および、安全に払い出すために確保しておく量。

※2 主に緊急時に稼働する電源のため、運用下限を設定していない。